洪水のときはみんなで助け合おう

災害時要援護者をみんなで守りましょう!!

高齢者や乳幼児、小学生、身体の不自由な方など、災害時に自力で避難することが困難な方には、日頃から積極的にコミュニケーションをとって、万が一の時はみんなで避難に協力しましょう。

高齢者・病気の人
複数の人で協力して避難しましょう。急を要する場合はひもなどを使って背負うなどして、安全な場所へ避難しましょう。

車いすや足の不自由な人
それぞれに適した誘導方法を確認し、早めに避難しましょう。
車いすの場合は、階段ではかならず３名以上が協力し、上がるときは前向きに、下がるときは後ろ向きにして恐怖感を与えないようにしましょう。

目の不自由な人
「お手伝いしましょうか？」などとまず声をかけ、話すときはゆっくり、はっきり、大きな声で。
誘導するときはつえを持っていない腕のひじあたりに軽く触れるか、腕を貸しながら半歩前をゆっくり歩いて誘導しましょう。

耳の不自由な人
話すときは、相手に近づいてまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。口頭でわからない場合は、紙とペンで筆談しましょう。
紙やペンがなければ、指先で相手の手のひらに字を書いて筆談しましょう。

自主防災組織のつくり方とおもな活動

災害のときは、被害を最小限に食い止めるために、地域の助け合いが必要です。
いざというときに備えて、自主防災組織を結成し、”地域をみんなで守る”という意識をもって防災活動に取り組んでいきましょう。

自主防災組織のつくり方

1 すでにある組織を活用する
自治会等の組織で、すでに防災活動をしている場合は、活動の充実をはかりましょう。

2 新しく組織をつくる
自主防災組織を結成していない自治会などは、新しく、地域に応じた組織をつくり、防災活動に取り組んでいきましょう。

おもな活動の例

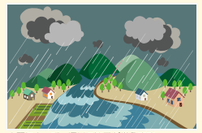
平常時
- 講習会や説明会などによる防災学習の実施
- 防災訓練（避難訓練や救急法の練習など）の実施
- 家の安全点検や避難経路の確認
- 災害時に必要な防災用具の準備・点検

災害時
- 情報の収集
- 負傷者の応急手当
- 住民の避難誘導
- 災害時要援護者の避難支援
- 避難所運営

洪水の起こり方

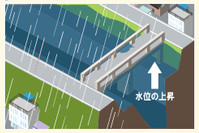
大雨で河川の水位が上昇したら…

1 大雨



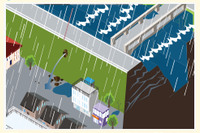
大雨によって、河川の流量が増えます。

2 水位の上昇



河川流量の増加に伴い、水位が上がり始めます。

3 水の圧力増加

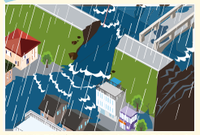


堤防いっぱいまで水位が上がると、堤防に水の圧力がかかり始め、堤防が崩れやすくなります。

4 堤防の越水

堤防が低くなっている所では、決壊する前に水が溢れだすこともあります。

5 堤防の決壊



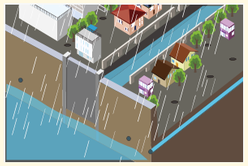
水の力に堤防が耐えられなくなると堤防の一部が崩れ始めます。

6 はん濫

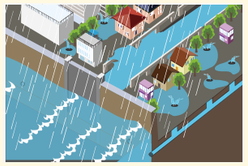
堤防が崩れたり低くなっている所から川の水が溢れ出し、家に襲いかかります。

内水はん濫の起こり方

堤防の決壊や川から水が溢れて起こる洪水のほかに、小さな川、水路などの水が河川に排水されずに溢れるはん濫を内水はん濫といいます。
田布施川・灸川洪水ハザードマップの作成は、田布施川・灸川・土穂石川のうち水位周知区間からのはん濫が対象です。
そのため、この内水はん濫や高潮によるはん濫の場合は、浸水する区域が地図と異なる可能性がありますので注意しましょう。



雨などに降った雨は、小さな川、下水道などを流れて各河川に排水されます。



大雨が降ると各河川の水位が上がり、雨水などが排水されないため、小さな川や水路などが溢れてはん濫します。

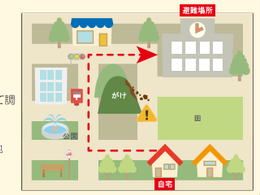
わが家の避難地図

安全に避難場所まで行けるように、わが家の避難地図を作りましょう。家から避難場所までの危険な場所や目印などを記入して、一番安全な経路を確かめましょう。

避難地図を作成するときのチェックポイント

田布施川・灸川洪水ハザードマップをコピーするなどして、下のチェックポイントを参考にしながら、自宅からの避難経路を記入して、避難地図を作ってみましょう。

- □ 地図上の自宅を探して印をつけましょう。
- □ 避難する場所を確認して印をつけましょう。
- □ 自宅から避難場所までの経路を記入しましょう。
- □ 避難経路周辺には看板や信号機など目印になるものがありますか？
- □ 避難経路周辺に危険な場所がないか調べてみましょう。実際に歩いて調べてみましょう。
  - □ 土砂災害の危険箇所　□ ふたなし側溝　□ 水路
  - □ 路肩の崩れそうな場所　□ 河川・谷　□ ため池
  - □ 段差　□ その他（　　）



オリジナルマップ

わが家の避難場所	
家族が離ればなれになったときの集合場所	

避難場所や避難経路は定期的に確認しておくことが大切です。

土砂災害の注意すべき前兆現象

土砂災害の種類と注意すべき前兆現象

土砂災害は、台風などにより大雨が降ると、山地の急な斜面や地盤の緩くなった山肌が崩れて土砂岩石や木々が大量の水と一緒になって、私たちの街に襲いかかってくるもので、人が亡くなる割合が多い恐ろしい災害です。
道路や橋、家や田畑なども壊してしまいます。特に降雨量が１時間に 20mm以上、降り始めから 100mm以上になると、十分な注意が必要です。

がけ崩れ（急傾斜の崩壊）

雨水がしみ込んで柔らかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。日本で最も多い土砂災害で、急に起きるため逃げ遅れて犠牲になる人も多い災害です。

前兆現象
- がけから水が湧き出る。
- がけからの水が濁る。
- 地下水や湧水が止まる。
- がけから木の根が切れるなどの音がする。

地すべり

豪雨や長雨で、ゆるくなった斜面の一部が、地下水や重力の影響でゆっくり下方へ移動する現象です。発生すると広範囲に被害を与えます。

前兆現象
- 地面にひび割れが出来る。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。
- 家や擁壁に亀裂が入る。

土石流

長雨・集中豪雨などで、山腹や渓流の石や土砂を一気に下流に押し流します。強大な威力とスピードで、進行方向にあるものを飲み込み破壊します。

前兆現象
- 山鳴りがする。
- 立木が裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり出す。

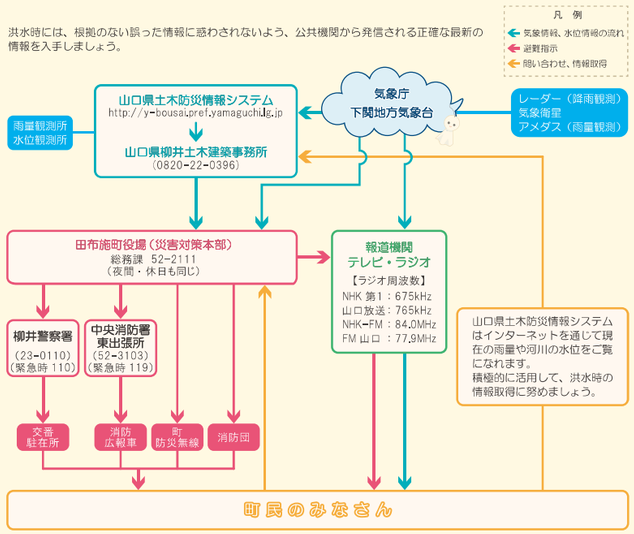
家族の緊急連絡先

氏　　名	学校・勤務先	電話番号

< 洪水ハザードマップに関する問い合わせ先 >
田布施町役場　総務課
〒742-1592　山口県熊毛郡田布施町大字下田布施 3440-1　TEL. 0820-52-2111

情報の伝達経路

洪水時には、根拠のない誤った情報に惑わされないよう、公共機関から発信される正確な最新の情報を入手しましょう。



山口県土木防災情報システムはインターネットを通じて現在の雨量や河川の水位をご覧になれます。
積極的に活用して、洪水時の情報取得に努めましょう。

災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれないことがあります。
そんな時は、災害用伝言ダイヤルがご利用できます。

伝言を伝えたいとき、聞きたいときは「171」をダイヤルし、音声案内にしたがって操作をしてください。

忘れて 171（イナイ） 災害伝言

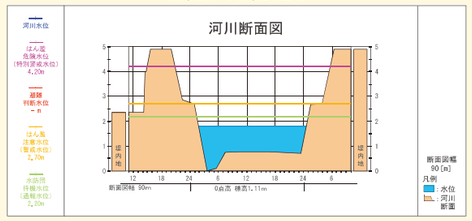
※災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話からも利用できます。
※ウェブ版も利用できます。https://www.web171.jp

情報の取得方法①

河川の水位

田布施川と灸川では、「はん濫危険水位」、「避難判断水位」、「はん濫注意水位」、「水防団待機水位」という４種類の水位が設定されています。
この水位を基に水防活動を行ったり、テレビ・ラジオ・インターネット等を通じて付近の人々に洪水時の避難活動を促します。
また、インターネット（山口県土木防災情報システム）では基準地点の現在の雨量、水位等がご覧になれます。

山口県土木防災情報システムの表示例
（田布施川　下田布施水位局）



基準水位	内　容
はん濫危険水位（特別警戒水位）	はん濫する可能性のある水位です。
避難判断水位	住民の避難の目安となる水位です。
はん濫注意水位（警戒水位）	水防団等が、水害の発生に備えて出動の目安とする水位です。
水防団待機水位（通報水位）	水防団等が、水防活動に入る準備を行う目安とする水位です。

気象情報

雨が強く降りだしたら、気象予報に注意しましょう。

雨の強さと目安

1 時間に 10 ～ 20mm	1 時間に 20 ～ 30mm	1 時間に 30 ～ 50mm	1 時間に 50 ～ 80mm	1 時間に 80mm 以上
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨

情報の取得方法②

町が発令する避難情報及び気象庁の発表する警報等（大雨 / 洪水）

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生または切迫	命の危険　直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
	警戒レベル４までに必ず避難！		
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令されるものではない
※2　警戒レベル３は、高齢者等以外の人も必要に応じ、自主的に避難するタイミングです

町が発令する避難情報及び気象庁の発表する警報等（大雨 / 洪水）

高　災害の危険性　低

警戒レベル 4　避難指示
- 速やかに危険な場所から避難先へ避難してください。
- 避難が危険な状況で屋内に残っている場合は、屋内で安全を確保してください。

警戒レベル 3　高齢者等避難
- 気象情報等に注意を払い、避難の必要について検討してください。
- 避難が必要と判断する場合は、非常持出品など避難の準備をしてください。
- 要配者（高齢者等）がいる家庭、あるいは危険な地域に住んでいる方は、早めに避難してください。

警戒レベル 2　大雨・洪水・高潮注意報
- ハザードマップ等で避難行動を確認してください。

インターネットの防災気象情報

山口県土木防災情報システム	● 県内の雨量と河川の水位を知ることができます。 パソコンを使う場合　http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp 携帯電話を使う場合　http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/ スマートフォンを使う場合　http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/sp/
下関地方気象台	● 県内の注意報・警報の発表状況を知ることができます。 https://www.jma-net.go.jp/shimonoseki/
気　象　庁	● 気象全般にわたる情報を掲載しています。 https://www.jma.go.jp/jma/index.html

避難時持出品情報

安全に避難するためには日頃からの準備が必要です。ふだんから避難時に必要な持出品を準備しておき、定期的に点検しておきましょう。
以下に参考となるものを列記します。

非常持出し袋に入れておくもの

- □ 非常食
  - □ 飲料水
  - □ 乾パン
  - □ チョコレート等のお菓子
  - □ 缶詰
- □ 水筒
- □ 懐中電灯
- □ レジャーシート
- □ ロープ
- □ 乾電池
- □ ろうそく
- □ 携帯ラジオ
- □ 非常用給水袋
- □ 固形燃料
- □ マッチ
- □ タオル
- □ 軍手
- □ カイロ
- □ オイルライター
- □ 救急医療品
  - □ ガーゼ
  - □ ばんそうこう
  - □ きず薬
  - □ 消毒液
  - □ 脱脂綿
  - □ 包帯
  - □ 胃腸薬
  - □ かぜ薬
  - □ 持病の薬
  - □ 鎮痛剤
  - □ 処方箋のコピー

生活用品

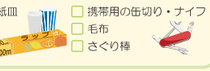
- □ 着替え用の衣類
  - □ 上着
  - □ 下着
  - □ 靴下
- □ 予備のメガネ
- □ 携帯電話（充電器）
- □ 雨具
- □ 入歯
- □ 洗面用品
- □ 生理用品

貴重品

- □ 現金
- □ 通帳・印鑑
- □ 権利証書
- □ 免許証のコピー
- □ 健康保険証のコピー
- □ マイナンバーカードのコピー

あれば便利なもの

- □ 紙コップ、紙皿
- □ ビニール袋
- □ ラップ
- □ 携帯用の缶切り・ナイフ
- □ 毛布
- □ さぐり棒



点検日　年　月　日　／　点検日　年　月　日　／　点検日　年　月　日　／　点検日　年　月　日

家族構成に応じて準備するもの

赤ちゃんのいる家庭
- □ 紙おむつ
- □ ミルク
- □ 哺乳瓶
- □ 飲料水
- □ 粉ミルク

高齢者・身障者のいる家庭
- □ 常備薬
- □ 介護用品

ペットのいる家庭
- □ キャリーバッグ
- □ ペットフード
- □ ペットトイレ

その他必要なもの

- □ 洪水ハザードマップ
- □
- □
- □
- □